



## 第49回雑居まつり 発起人会および第1回実行委員会 報告

- 開催日 2024年6月29日(土)午後7時～9時
- 会場 児童相談会議室A・B

### ◎配布資料

- 第49回雑居まつり 発起人会および第1回実行委員会 資料
- 第49回雑居まつり 参加台帳
- 雑居まつりに関わるすべての方へ このまちでくらす
- 第48回雑居まつり会計報告、雑居まつりを支える会総会資料
- 雑居まつりを継続する上での課題
- 第48回雑居まつり会場案内図(参考用)

### 発起人会

---

○参加団体26団体、41人が集まりました。事務局員含め、みんなで自己紹介しました。はじめに羽音ロックの3人から発言をもらいました。

「今年の羽音ロックのテーマは「はねマジック」。今までとはちがうオレたちの羽音ロックを見せたい。若者として準備や片づけを手伝うので昨年のように1日開催してほしい」

「団体としては49年参加している。今年も娘といっしょに親子で実行委員会に参加します」

「今年も自分たちが何をやっているか、多くの人にアピールする場にしたい」

「今年から世田谷区手話言語条例が施行された。この実行委員会での手話通訳もこれまでボランティアをお願いしていたが今回から公的派遣してもらっている。これからも手話を広めたい」

「障がい者と私たちが社会でどうかかわっていくか考えたい。だんだん羽根木公園を歩くのがつらくなっているが、“みんなで考える”土壌が世田谷にあるのだということを示したい」

「地域に住む福祉に興味ある人を巻き込んで活動していきたい」

・参加を検討したいと新しい団体、久しぶりの参加という団体、まだ参加を決めていないという団体からも発言がありました。

○第49回雑居まつりの開催を拍手で確認しました。開催時間・方法は今後の実行委員会で決定していきます。

**2024年10月13日(日)(荒天の場合は14日に順延)・羽根木公園で開催を予定**

## 第1回実行委員会

---

### 1. 世田谷区からの助成について

1,616,844円の助成を受けられることになりました。

### 2. 世田谷区社会福祉協議会からの「世田谷共同募金配分金」について

10万円の助成をいただけることになりました。

### 3. 第48回雑居まつり会計報告

大量の未使用の切手の寄付があり、収入の「寄付」の項目に入れました。通信費として活用しています。

### 4. 雑居まつりを支える会会計報告

第48回雑居まつりが22,810円の黒字だったのでその分が収入に入っています。

### 5. 「雑居まつりを継続する上での課題」(別紙・議題は継続していく)

雑居まつりを支える事務局の人数の減少および高齢化により、今後も開催を継続していくことが困難な状況。コロナ禍は事態に対応するため実行委員会も増やすなど、変化もしてきた。

しかし当日前後の運営、毎回の実行委員会の運営や実務処理、区との渉外など数人でまわしている今の状況では、誰かが休むと作業が滞るなど、どうにもならなくなっている。

①みんなで創りあげてを大切にしているため、実行委員会の回数が多い

回数を減らしたいが団体同士の交流が薄まるおそれあり

②実行委員会運営の担い手不足

③準備・あとかたづけの担い手不足

④当日の運営の担い手不足

⑤区役所等との渉外を分散させるには・・・

問題を解決するには・・・

- ・事務局会議の日程をお知らせしてはどうか。実行委員の中に参加したい人もいるかも。
- ・行政との交渉などこの中にも得意な人がいるので内内に打診してはどうか。
- ・昨年手伝いに行ったら「もうやることがない」と言われた。もっと事前に周知してもらおうか、どこに何が足りないのか教えてほしい。
- ・びっくりした。そんなに大変だとは。任せっぱなしにせず何か手伝えることがあったら伝えてほしい。
- ・みんなで情報共有するべき。サイトで事務局の情報を得られるようにするなど活用を考えたらどうか。

#### ○事務局より

- ・来年の50回まではがんばる。それまでに事務局のメンバーが増えるといいが。8月24日の実行委員会を「今後の雑居を考える」回にしようと思っている。←未決定
- ・雑居があることで人生が太くなった。その雑居がこのような形でなくなることがないようになりたいが・・・

## 6. 第49回雑居まつりの方向性の確認

### ○開催時間 午前10時～午後4時

昨年同様、6時間開催が拍手で承認されました。

### 趣旨の確認

趣旨を読み上げ、今年もこの趣旨で一致することが承認されました。

私たちが、日々生活している街。この街で私たちが今日にいたるまで築きあげてきた文化は、一方では生活を豊かにしてきましたが、他方では環境汚染にみられるように、あらゆる生命をおびやかすものになってきています。また、それにつれて、私たちの心も物の豊かさに反比例するように、ほかの人々を排除したり、心を理解するゆとりが失われがちになってきています。こうした現状をふまえて「地域の問題は地域住民の手で」をひとつの合言葉に、さまざまな地域の問題をとりあげて活動している団体・個人の自発的参加によって、「雑居まつり」を企画しました。まつりは、そこに参加するすべての人々が楽しみを分かちあうとともに、お互いの生活や思い、そして地域社会全体にかかわる問題を語りあい、自分たちの今の生活を問いなおすきっかけにしていきたいと思えます。さまざまな企画を通して、お互いの問題を理解しあえるように、私たちは、私たちなりの表現で、まつりを創りあげていきます。

それぞれの問題をかかえた人々が、まつりを通してつながりを深くしあい、ともに生きる地域社会をめざしたいと考えております。この輪のひろがりこそ、「雑居まつり」の最も大切にしていきたいことなのです。地域の皆さまの積極的なご協力、ご参加をお願い致します。

### ○模擬店の有・無、飲食スペースの有・無、飲食スペースの運営

模擬店は出店できることとする。飲食スペースについては模擬店参加の団体が決まってから考える。

### ○食器について

コロナ前までは、食器を貸し出していたが、現地で安全に洗いまわすことが困難であると考えて貸し出し食器をやめた。保健所からは、食中毒について指導はあるが、食器については言われていない。

雑居まつりは、30年以上前から「ごみを出さない」まつりを目指して、ごみの分別、使い捨て食器（特にプラスチック容器）を使わない、水場の設置、マイ食器の持参などに取り組んできた。

食器の貸し出し、マイ食器、水場の設置については、コロナ前と同じようにできるのか、どうやれば安全なのか、専門家でない私たちには分からない。どう判断したらいいのか、みんなで考えたい。

昨年は環境に負荷をかけない使い捨ての食器（容器ではなく、紙、割り箸や串）を使った。今年もそのつもり。

### ○ごみ処理について

模擬店の出店者会議を行ったうえで検討する。

### ○マスクの着用、消毒液の設置について

昨年、団体参加者は基本的にマスクをして出店、お客さんには「できるかぎりマスクの着用を」とした。

今は個人の自由くらいになっているのでは。もう少し緩和してはどうか。

※模擬店、飲食スペース、ごみ処理、マスクなど総合的に考えていく。団体で話し合ってきてください。

#### ○出店場所について(エリア別・広場別・その他)

林の中は木の根で車いすの方が歩きづらい。エリアを考えるか整地を公園に申し入れるとかできないか。

※参加台帳しめきり 7月27日(土)まで

#### ◆今後の予定

※会議の進捗状況により、回数が増えたり減ったりする可能性があります。

- 第2回実行委員会 7月27日(土) 午後7時～9時 児童相談所A・B会議室
- 第3回実行委員会 8月24日(土) 午後7時～9時 児童相談所A・B会議室
- 第4回実行委員会 9月14日(土) 午後7時～9時 児童相談所A・B会議室
- 第5回実行委員会 9月28日(土) 午後7時～9時 児童相談所A・B会議室
- 第6回実行委員会 10月5日(土) 午後7時～9時 児童相談所A・B会議室
- ◎第49回雑居まつり 10月13日(日) 羽根木公園
- 第7回実行委員会 10月26日(土) 午後7時～9時 児童相談所A・B会議室

○7月6日(土)19時～ 事務局会議です。活動センターにて。